

1 2019年度国際派遣試合

本要項は次の大会への水球日本代表選手団(男女)の編成を定める。ただし、本連盟水球委員会(以下「水球委員会」という。)は、現在、2019年度については下記①から②の大会への参加を検討しており、大会への不参加が決まった場合には、本要項は適用されない。

- ① ワールドリーグスーパーファイナル
【男子】6月18日～23日 セルビア・ベオグラード
【女子】6月4日～9日 ハンガリー・ブダペスト
- ② 世界選手権
【男女共催】7月18日～7月28日 韓国・光州
- ③ 国外チーム派遣・招聘事業
詳細未定

2 日本代表選手団編成方針(選手選考基準)

本要項により選出される2019年度スクワッド代表候補選手(以下「代表候補選手」という。)及び日本代表選手(以下「代表選手」という。)は、次の基準に基づいて選考する。

記

- 1) 日本代表選手団は、礼儀を尊び規律を遵守し、活力ある日本を代表するにふさわしく、かつ参加各国・地域との友好と親善に寄与できる選手・役員をもって編成する。
- 2) 代表候補選手及び代表選手は、次の基準に照らして選考する。
 - ① 日本水泳界の期待に応えうる競技力を持つ者の中から、以下の目標大会で入賞及びメダル獲得を目指す為の能力を有する者を選考する。なお、入賞及びメダル獲得の目標大会は、次の優先順位とする。
 - 第1順位: 2020年東京五輪ベスト8
 - 第2順位: 2019年世界水泳選手権決勝トーナメント出場
 - 第3順位: 2019年ワールドリーグスーパーファイナルベスト4
 - 第4順位: 直面する大会などでのメダル獲得
 - ② ①の能力は、選手個人の能力だけでは判断せず、「日本代表が目指す強化方針」への理解度(代表選考のみに適用)、選手のチームへの貢献度、他の選手との協調性や調整能力等、チームとしての最大のパフォーマンスを発揮できるという視点から総合的に判断する。
 - ③ 過去1年間に次の1つに合致する者、あるいは過去1年間より前に次の1つに合致する行為を複数回行った者は選考しない。ただし、水球委員会が当該選手に特段の事情を認めた場合はこの限りではない。
 - ・ 日本代表選手行動規範を遵守できなかった者
 - ・ 代表監督の戦術の指示に従わなかった者
 - ・ チームワークを乱す行動を取った者
 - ・ その他日本代表チームの目標に対して不利益と思われる行動及び言動を取った者

3 代表候補選手の選考方法

1) 原則的選考方法

- 1 本連盟選手選考委員会（以下、「選手選考委員会」という。）が代表候補選手（補欠を含む）を選考する。その手続は次のとおりとする。
 - ① 代表監督は、水球委員会強化部会（以下、「水球強化部会」という。）に対して、代表候補選手案を提案する。
 - ② 水球強化部会は水球委員会に対して、代表候補選手案を提案する。
 - ③ 水球強化部会及び水球委員会における選考は、満場一致を原則とするが、委員の意見が分かれた場合は、多数決をもって決する。
 - ④ 水球委員会は本選手選考委員会に対して、代表選手案を推薦する。
- 2 代表候補選手は、14人から30人以内とする。
- 3 代表候補選手の選考は、所属チームが国内であるか国外であるかを問わず、次の大会等における各選手のパフォーマンスを参考に選考する。
 - ・ 2018年度及び2019年度ワールドリーグインターコンチネンタルトーナメント
 - ・ 2018年度及び2019年度ワールドリーグスーパーファイナル
 - ・ 2018年度アジア大会
 - ・ 2018年度ワールドカップ
 - ・ 2018年度アジアジュニア選手権大会
 - ・ 2018年度及び2019年度日本選手権(各予選会を含む)
 - ・ 2018年度及び2019年度日本学生選手権
 - ・ 2018年度及び2019年度関東学生リーグ
 - ・ 2018年度及び2019年度関東学生新人戦
 - ・ 2018年度及び2019年度ジュニアオリンピック大会
 - ・ 2018年度及び2019年度高校総体
 - ・ 2018年度及び2019年度国民体育大会
 - ・ 2019年及び2020年日本代表候補選考トライアル

2) 補充的選考など

- 1 代表監督は、必要に応じて、2019年度スクワッド代表候補選手を追加選出することができる。
- 2 代表監督による、前項の判断は、原則的選考方法の対象大会のみならず、全ての大会・練習等を参考とする。
- 3 代表候補選手として選出された者が、選手選考基準2)③に該当する行為を行った場合は、代表監督は当該選手を代表候補選手から除外することができる。
- 4 代表監督は、追加選出及び除外を行った場合は、その後に開催される水球委員会に遅滞無く報告し、承認を得る。

3) 代表候補選手の強化方針

- 1 代表監督は代表候補選手に対して、「日本代表が目指す強化方針」を説明し、代表候補選手は、この強化方針に従って強化に努める。
- 2 代表候補選手の強化は、所属チーム及び国内外強化合宿における強化を併用する。
- 3 国内外強化合宿において強化を図る選手は、代表監督(男・女)が決定し、必要に応じて代表候補選手以外の者を国内外強化合宿に招集することができる。

4 代表選手の選考方法

- 1) 選手選考委員会は、2019年度国際派遣大会の各代表選手(補欠を含む、以下同じ。)を、代表候補選手の中から選考する。その手続は次のとおりとする。
 - ① 代表監督は、水球強化部会に対して、代表選手案を提案する。
 - ② 水球強化部会は水球委員会に対して、代表選手案を提案する。
 - ③ 水球強化部会及び水球委員会における選考は、満場一致を原則とするが、委員の意見が分かれた場合は、多数決をもって決する。
 - ④ 水球委員会は選手選考委員会に対して、代表選手案を推薦する。
- 2) 代表選手の人数は、参加する大会要項に定められた人数構成に加え、原則として3名の補欠を選考する。
- 3) 水球強化部会及び水球委員会における代表選手選考は、所属チームが国内であるか国外であるかを問わず、次の大会等(但し、各代表選手の選考日までに実施されるものに限る)における各選手のパフォーマンスを参考に選考する。
 - ・ 2018年度ワールドリーグインターコンチネンタルトーナメント
 - ・ 2018年度及び2019年度ワールドリーグインターコンチネンタルトーナメント
 - ・ 2018年度及び2019年度ワールドリーグスーパーファイナル
 - ・ 2018年度アジア大会
 - ・ 2018年度ワールドカップ
 - ・ 2018年度アジアジュニア選手権大会
 - ・ 2018年度及び2019年度日本選手権(各予選会を含む)
 - ・ 2018年度及び2019年度日本学生選手権
 - ・ 2018年度及び2019年度関東学生リーグ
 - ・ 2018年度及び2019年度関東学生新人戦
 - ・ 2018年度及び2019年度ジュニアオリンピック大会
 - ・ 2018年度及び2019年度高校総体
 - ・ 2018年度及び2019年度国民体育大会
 - ・ 2018年度日本代表候補選考トライアル
- 4) 代表候補選手の内、選考対象となる国際/国内大会等において怪我などの事由により十分な能力が発揮出来なかった場合は、代表候補選手及び所属監督連名で、水球委員会に対して、書面をもって、当該選手に対して追加の評価の機会を与えることを申し入れることができる。水球委員会は、この申し入れがあった場合は、評価の機会を追加することができる。

5 選考要項の説明方法

- 1) 水球委員会は、2018年12月14日、本選考要項案を決定し、その後、2019年3月5日に、本連盟常務理事会での承認を得た。
- 2) 水球委員会は、以下の方法により、本選考要項を選手に周知させる。
 - ① 所属代表、所属監督が出席する水球委員会あるいは強化コーチ会議での説明、資料配布
 - ② 本選考要項記載の選考対象大会、合宿等での資料配布・口頭での説明
 - ③ 本連盟ホームページによる告知
- 3) 水球委員会は、代表候補選手が決定して強化が開始されるまでに、「日本代表が目指す強化方針」を策定し、2)の方法により代表候補選手に周知させる。

以上